

Rotary



RI会長 ジョン・ジャーム
第2590地区ガバナー 高良 明
No.2122 FEBRUARY.7 2017



川崎中ロータリークラブ会報

KAWASAKI NAKA ROTARY CLUB / FOUNDED 1972.7.15

【会長テーマ】： 会 員 増 強 と ロ ー タ リ ー を 学 び 、 我 が 奉 仕

会 長 富岡 昭一
副 会 長 内藤 幸彦
幹 事 渡邊 新治
S A A 長戸 隆彦
会報委員長 叶野 聡

2016~2017

第 2142 回例会

平成 29 年 2 月 14 日

例会日 毎週火曜日 12時30分点鐘
例会場 川崎市中原区小杉町 3-10
ホテル精養軒
TEL(044)711-8855
事務所 川崎市中原区小杉町 3-428
山協ビル 402号
TEL(044)722-4331 FAX(044)722-6334
E-mail : k-naka@galaxy.ocn.ne.jp
URL: http://www.kawanaka-rc.com

例 会 報 告

開会点鐘	富岡 昭一 会長
司 会	長戸 隆彦 SAA
合 唱	「我らの生業」
お客様紹介	森田 淳 親睦委員

三木 治一 会員 市川 宏 会員 松田 敏治 会員
鹿島 義久 会員 堀一 慶明 会員 金子 利昭 会員
小島 徹 会員 大牟田 淳 会員 井上 光明 会員
小島 満 会員

ニコニココーナー

志村 修司 副 SAA

富岡 昭一 会長：川崎北 R C 会長 松波 登様 本日の卓話、よろしくお願ひいたします。

渡邊 新治 幹事：松波様、いつもお世話になっております。卓話楽しみにしています。本日もよろしくお願ひいたします。

川口 禮敬 会員：松波登様、卓話ありがとうございます。楽しみに拝聴させていただきます。

高木 洋一 会員：川崎北 R C 会長 松波様、卓話ありがとうございます。

細山勝三郎 会員：昨日は西明寺さんでの増強委員会、渡邊 会員ありがとうございます。

伊藤 文治 会員：本日はご多忙の中、松波登様には卓話において頂きありがとうございます。

朝山 秀男 会員：北 R C 松波 会長にはご多用の中、卓話ありがとうございます。

白井 正男 会員：本日の卓話、松波登様よろしくお願ひします。楽しみです

ゲストスピーカー 松波 登 様	川崎北ロータリークラブ 会長
ゲスト 李 香福 様	2015-17 年度 米山奨学生 (韓国)

今後のプログラム予定

2月	プログラム名
第3例会 2月21日	卓話(社)日本ソムリエ協会 認定ソムリエ 露無 紘美様 演題:「美味しいワインの選び方 と楽しみ方」

出 席 報 告

会員数	出席数	欠席数	出席率	前々回訂正出席率		
45名	35名	10名 対象外 (7)	92.11%	欠6名 対象外 (4)	MU2名	95.00%

【本日の欠席者】

小林 敏伸会員：川崎北 R C 松波様、本日は卓話ありがとうございます。
とうございます。

貝田 充会員：松波様、本日はお忙しいところお出でいただきありがとうございます。よろしくお
願い申し上げます。

井上 裕司会員：大牟田さん、先週は報告して頂きあり
がとうございました。お手数をおかけ致し
ました。

田邊 進会員：北 R C 松波会長様、卓話ありがとうございます。
います。

小丸日出夫会員：川崎北 R C 会長松波様、本日は当クラ
ブにお出で頂き誠にありがとうございます。

合計	13 件	13,000 円
累計	470 件	543,000 円

会 長 報 告

富岡 昭一会長

1. 横浜東 R A C より 3 月第一例会のご案内が届いてお
ります。

日 時：3 月 11 日（土）9：30～16：30

場 所：捜信女学校 玄関口集合

※詳細は回覧いたしますので、登録ご希望の方は事務
局までご連絡願います。

幹 事 報 告

渡邊 新治幹事

1. 例会変更

川崎西北 2 月 23 日（木）夜例会 ガバナーノミニ
一金子様卓話

3 月 14 日（火）移動例会 J A L 工場見学

3 月 23 日（木）昼例会

3 月 30 日（木）休 会

川崎麻生 2 月 24 日（金）創立 25 周年記念例会
点鐘 17：00 宿縁 18：00

3 月 17 日（金）職場訪問
青梅「小澤酒造株式会社」

＊～本日の卓話～＊

演題「ヴァヌアツ共和国への国際医療奉仕活動」

卓話者：松波 登様（川崎北ロータリークラブ会長）

ご紹介：貝田国際奉仕委員長

卓 話



<貝田充会員のご紹介のあと、松浪登さまによる卓話が
ありました。>

プロフィール

松波 登（まつなみ のぼる） 2016-17 年度

川崎北 RC 会長

昭和 23 年 10 月生まれ 68 才

職 業： 株式会社日本ビューテック 代表取締役

株式会社日本エレクトライク 代表取締役

職業分類： 自動車用安全機器

【ロータリー歴】

1998 年 10 月 川崎北ロータリークラブ入会

2000-01 年度 クラブ国際奉仕委員長

2003-04 年度 クラブ雑誌委員長

2004-05 年度 クラブロータリー財団委員長

2005-06 年度 クラブ親睦委員長

2006-07 年度 クラブプログラム委員長

2010-11 年度 クラブ会員増強委員長

2011-12 年度 クラブ国際奉仕委員長

2012-13 年度 副会長

2015-16 年度 会長エレクト

2016-17 年度 会 長

ベネファクター、マルチプル・ポール・ハリス・フェロー、
米山功労者マルチプル

ヴァヌアツ国際奉仕 卓話

ヴァヌアツ国際医療奉仕は、2000年～2001年度に、私が国際奉仕委員長を仰せつかった時から始まりました。お医者様の友人が多く、当時ウクライナに国際医療奉仕をしていた、横浜市民病院の長田先生に相談しました。長田先生はウクライナだと予算50万円では喜ばれないだろうと、発展途上国のマラリア撲滅に尽力している、東京女子医大の金子明先生(現在スエーデン・カロリンスカ研究所教授)をご紹介いただきました。金子先生は、南太平洋のヴァヌアツ共和国ではマラリアが残っていて乳児の死亡率が高い、撮影装置付き電子顕微鏡を贈れば、マラリアの早期発見に役立ちます。と、言われました。近隣の川崎中原RCのメンバーで、ホテル経営をしている山本さんに計画を話すと、中古のシートで十分使用できるのがあるから病院に寄付してと頂きました。奉仕させていただくにあたり、単にお金や物品を贈るだけでなく、現地に行き実際に役立っているか？を、状況確認して奉仕の意識を高めましよう、ヴァヌアツ国際奉仕団を結成しました。

第一回ヴァヌアツ国際奉仕団が結成され、30人以上が参加しました。首都ポートヴィラの中央国立病院で贈呈式が行われました。団長の谷口会員から、我々ロータリアンはこの病院へ撮影装置付き顕微鏡をマラリア撲滅のために持参しました。この装置を使ってヴァヌアツの方の健康にお役に立てただけなら嬉しいです。と、挨拶しました。ヴァヌアツ共和国の厚生次官と中央国立病院長から、川崎北ロータリークラブから贈られた顕微鏡は、多くの国民の命を救うでしょう。と、ご挨拶頂きました。贈呈式終了後は、病院内を案内して頂きました。ODAで送られたレントゲンは、故障して1年以上使えない状態です。等、病院の不十分な施設の案内を頂きました。その後簡単な歓迎会を開いて頂きました。地元のポートヴィラRCとの懇親会を開き、地元ロータリアンにも喜んで頂きました。ロータリアン同士の交流も、国際奉仕の楽しみの一つです。第二回には電気の無い島でも使える様にと、発電機を贈りました。第三回はマイクロスコープを3台。第四回は細かい医療機器やシートを、第五回は救急車を、第六回は2台めの救急車を贈りました。訪問しない年も医療支援を続けました。2009年には血球数測定装置を要望されました。メーカーのシス

メックス社に見積もりを依頼しました。1台約200万円、技術指導料40万円と頂きました。予算が無いのでそのままにすると、シスメックス社からどうなったとの問い合わせがありました。予算が無いので無理と答えたら、技術指導料だけで良いですと、ヴァヌアツに血球数測定装置を贈ることができました。救急車を贈るきっかけは、創立50周年のイベントにポートヴィラ中央国立病院の関係者をご招待したらという提案が出されました。50周年の記念イベントに病院関係者3名が来られました。記念式典ではドクター・トーコンから謝辞を頂きました。金子先生もスエーデンから駆けつけて頂きました。日本滞在中は、関東労災病院・中原警察署・中原消防署・江戸博物館・東京タワー等を案内して回りました。中原消防署で3名が、高規格救急車に興味を示しました。欲しいですかと尋ねると『勿論』と言われました。所長に使用済になった救急車を頂けませんかとたずねると、可能性があると言われました。川崎市消防局へ正式に譲渡願いを提出しました。贈与が決まり、川崎中RC様の他、近隣4クラブに支援を頂き、救急車の整備を行いました。タイヤも新品に替え準備ができたところで、川崎市消防局で贈与式を行いました。NHKの首都圏ニュースで取り上げられました。第五回国際奉仕団が、ポートヴィラ中央国立病院で救急車の贈呈式を行いました。沢山の病院関係者や地元ロータリアンが集まり、素晴らしい救急車が来たのは神様のおかげだと喜んで頂きました。JAICAから派遣された、看護師の方々が居て、高規格救急車の使い方を熟知していて安心しました。その後、国立病院のあるサント島にも救急車が欲しいと要望頂き、2台めの救急車を贈ることになりました。第六回国際奉仕団で訪れると、日本のODAで病院は最新の設備を持つ清潔な病院に建て替わっていました。贈呈式では病院長から、長い間医療支援いただき沢山の人命が救われました、2020年にはマラリアはヴァヌアツから撲滅できる予想です。と、謝辞と報告を頂き、国際奉仕団全員が初期の目的を果たせたと喜び感動しました。新病院は診療室と手術室が岡の上であり、そこから10°の坂下入院病棟が広がっています。1日5～6回、ストレッチャーに重い病人(ヴァヌアツ人の体重100kg)を乗せて、4～5名で入院病棟から手術室に押し上げるのが重労働で大変です。電動ストレッチャーを、探して

いただけませんかと依頼されました。坂道走行可能な市販の電動ストレッチャーは無く、作ると4～5百万円掛かるとの事、それではと私が作っているエレクトライク(電動3輪自動車)を紹介しました。予算を取って注文したいと言われましたが、なかなか予算がとれない様です。何とか日本政府にODAで送れないかと相談しています。贈った2台の救急車は消耗品で、定期的を送る必要があります。これからも、ヴァヌアツ共和国に、国際医療奉仕を続けていきます。ご清聴ありがとうございました。

お礼のことは

米山奨学生 李 香福 様

2016年度は米山奨学生として2年目であり最後の年でした。この2年間、ロータリー米山記念奨学会や川崎中ロータリークラブの方々にお世話になりながら留学生活に専念できました。博士学位取得のために、もう一年研究を続けることとなりますが、この2年間、充実した研究を行うことが出来ました。その結果、2016年に参加した2つの学会で両方、奨励賞を頂くことができました。その内1つの学会は、自分の母国である韓国の釜山(プサン)で開催された国際学会でした。自分の留学動機でもあった研究者の道に一步步近づいている中で、母国での研究発表で奨励賞を頂くことが出来て、胸が一杯になりました。またよい励みにもなりました。

カウンセラーの白井さんはいつも自分の健康や、何か困ったことはないかを気にして下さいます。また、ご家族の方々もとても親切で優しい方々です。2016年の新年に続き2017年の新年の時も自宅に招待して下さいました。新年やお盆に自分が一人で過ごすのではないかと気にし、賑やかに過ごせるよう招いて下さったのです。白井さんの大勢の家族と一緒に食事しながら、色々なお話で盛り上がりとても楽しく過ごせました。そして、もうお年玉を頂く年ではないのですが、まだ学生の身分であったためお年玉も頂きました。いつも家族同然のように気にして下さいまして感謝しています。米山記念奨学生としては後少ないですが、今後ともロータリー米山記念奨学会や川崎中ロータリークラブの皆さん、そしてカウンセラーの白井さんとの絆が繋がっていただけたらと思います。

ありがとうございました